

頃年諸國兵革繁キ中ニ、殊更今年ハ防州山口ニ於テ大動亂有リ、略○中 多年ノ兵亂ニ京都ノ住居ナラザリケル公家ノ面々數輩、山口ノ城下エ落來テ身ヲ寄セ、居住ノ人多シ、其比山口ノ繁昌、昔ノ京都鎌倉ニ不劣富饒也、

〔中國治亂記〕御子義隆ノ御時、略○中 京都亂ニテ帝位モヲダヤカナラズトテ、周防、山口ニ内裏ヲ建立シ、天子モ此方ヘ移奉ルベキ由、大内殿ケツコウアリケレバ、二條殿轉法輪三條殿持明院中納言殿、其外ノ公家衆、皆山口ヘ下向アリ、花洛ト申トモ爭カ爰ニマサルベキ、

〔安西軍策二〕義隆卿山口沒落事附於大寧寺自害事

義隆卿大ニ驚、山口中ノ軍兵ヲ催セトテ、六千餘騎ヲ集ケル、如案杉内藤ハ陶ニ一味シ不馳來、黒川岡邊ナド云ケルハ、略○中 築山ニ籠居テハ遁マジ、一先瀧ノ法泉寺ヘ義隆卿ヲ退申、敵ヲ引受合戰致サント云ケレバ、略○下

〔和漢三才圖會七十九〕周防德山至江戶陸二百五十一里、至大坂海上百五十五里、防府一名宮市、自此寅卯至水上四里、亥子至山口四里、至長門萩十八里、長至安藝廣島二十七里、

〔西遊雜記二〕德山は毛利侯御知行五百石御在所はて、市中もあしからず、人物言語大概にて諸品とぼしからず、

〔中國治亂記〕陶尾張守入道ハ安藝ノ境周防ノ岩國ト申處ニ在陣アリ、

〔安西軍策一〕尼子晴久敗北事

去程ニ尼子方ヨリ周防ノ物聞ニ作り山伏共ヲ置ケルガ、其夜陣所ヘ立歸リ、大内義隆數萬ノ軍兵ヲ率シ、防府ニ著陣シ、青景弘中、右田、問田ノ者共、已ニ防州岩國マデ襲來候ト申バ、略○下

〔西遊雜記一〕岩國は吉川の城地にして、むかしは山にありて要害もよき城なりしよし、今は麓に僅なるかきあげ城なり、分内せまきゆヘに諸家中川の東にあり、略○中 産物半紙と稱せる紙上品